

- ・留学期間：4 年次 夏期
- ・所属学科：総合社会学科

留学のきっかけ

参加のきっかけは、私の母が留学経験者であったため、母が訪れた国で体験したことや文化についての話を幼少期に聞いていました。その体験談から実際に海外での生活や文化、その国にしかない雰囲気自身で体験してみたいという思いがありました。

プログラム内容

今回私が参加したプログラムでは、8 割が日本人、2 割が韓国や台湾、ブラジルからの留学生でした。日本人でも中学 3 年生や高校生、2～4 年生の大学生、と幅広い年齢層でした。3 週間留学の方や 1 年間留学している方、3 週間の留学後に 3 カ月留学される方など様々な留学生がいました。

私が実際に参加した TRU のプログラムは、月曜日から金曜日の週 5 日、朝 9 時から 12 時、13 時から 15 時または 16 時まで授業という形でした。授業の途中約 20 分の休憩と 1 時間のお昼休憩があります。土・日曜日は休日で買い物やイベントに参加する人、ホストファミリーとお出かけする人など、リフレッシュする日でした。

1 日大学内で勉強という日もあれば、1 日中アクティビティがある日、午前または午後のみアクティビティという日もあります。

プログラム初日は、セレモニーから始まりオリエンテーションや選択授業の説明、TRU キャンパスツアーが行われました。

オリエンテーションでは、学長からのお言葉や先生の紹介、カムループスや TRU についてなど説明がありました。また国ごとに分かれて、母国語で留学する上で守るべきことやホームステイでの注意点、海外保険などの説明がありました。

授業について

授業は 2 つあり、言語授業と選択授業に分かれていました。

言語授業は、クラスに分かれて言語や体験するアクティビティ、カナダやカムループスについて 20 人で学びます。最初に、授業を受ける中で守るべきルールをクラス全員で作成し、クラスメイトを知るためのレクリエーションを行いました。

授業内容としては、前置詞の使い方、プログラムに含まれているアクティビティの歴史や道具の名前、使い方や注意点についてプリントを用いて学ぶこと、カナダドルの呼び方や由来、カナダの州や都市など言語以外についても学びました。

授業が始まると最初にウォーミングアップとして、全員参加のスマホを使った四択ゲームが始まります。そこでは、カナダ出身の歌手や曲名の問題、カナダの都市・州の問題など様々なジャンルの問題が出され、1 位になった人は景品がもらえる楽しいゲームでした。ゲーム感覚で様々なことを学べるため、日本でも取り入れてほしいなと感じました。

先生の話長時間聞くことはほとんどなく、課題をグループやペアで協力して解決していく、またはビンゴやゲームを用いて学んでいくことのほうが多かったです。

日本ではあまり体験したことのない授業でしたので、私自身は楽しく学べたなと感じました。

選択授業は全4回実施され、5～6つの講義から希望する講義を1つ選びます。

私は、その中からカナダと日本での環境についての考え方や対策について興味があったため Sustainability を選択しました。この授業の最終地点として、SDGs（持続可能な開発目標）17の目標からグループで1つ項目を選択し、その項目についての発表を行います。

その発表に向け、まずSDGsについての理解を深めるため、SDGs版神経衰弱などウォーミングアップを行い、理解とクラスメイトとの交流を深めます。環境問題や政策を国や都市、その地域と3つの項目から調べ、カナダと日本での環境問題や政策の違いについて学び、これからどうしていくべきなのかを自身でまとめます。そしてグループで選択した1つの項目からそれぞれの意見を出し合い、これから環境問題についてどのような政策をするべきなのかを議論します。議論した内容をパワーポイントで作成し、発表を行います。この講義からカナダと日本が抱えている環境問題について、国や都市、地域、それぞれから学ぶことができ、それぞれの国が抱えている環境問題について知るきっかけができてよかったなと思いました。

アクティビティについて

私が今回体験したアクティビティは、Downtown City Tour、Historic Hat Creek Ranch、Indoor Rock Climbing、Dreamcatchers、Golf、Kayaking でした。

ダウントウンツアーでは先生引率の元、ダウントウンの町をクラスの人達と訪れました。

リバーサイドパークでアイスを食べ、先生おすすめのご飯屋やカフェ、お土産屋さんを紹介していただき、ダウントウンを巡るツアーでした。



↑リバーサイドパークの近くにあるアイスクリーム屋さんでカラフルなアイス

Historic Hat Creek Ranch では、大学からバスで約 1 時間の歴史ある牧場で、現地のガイドさんが 1960 年代のゴールドラッシュの旅行者が使用した建物について解説してくださったり、その地域の先住民について学んだりします。また、先住民が実際に遊んでいたゲームを体験することができます。



↑ Historic Hat Creek Ranch の様子

Indoor Rock Climbing は、大学からバスで 10 分程度の場所にある、室内でロッククライミングが体験できる施設でロッククライミングを体験します。

室内ロッククライミングをする上での注意事項や登り方を聞いた後、最初は初心者ゾーンを体験します。その後、個人で自由に難易度別のロッククライミングを楽しみ、最後に 2 グループに分かれてリレーを行いました。私はロッククライミング初心者でしたが、とても楽しめました。



↑ 室内ロッククライミングの外観と室内

Dreamcatchers は、世界に一つだけのオリジナルドリームキャッチャーを作成します。外部からドリームキャッチャーの作り方を教えてくださる先生が教室に来られ、ドリームキャッチャーについての解説やビデオを視聴したのち、ドリームキャッチャーに必要な紐やビーズを自身で選び、作成します。初心者でも簡単に作ることができました。最後は、完成したドリームキャッチャーを並べて写真撮影をしました。



←個性あるドリームキャッチャー

Golf では、大学からバスで約 30 分の場所にあるゴルフ場で、打ちっ放しゴルフとパターゴルフを体験しました。ゴルフ場でインストラクターの方からグリップの握り方や打ち方などを教えていただきます。休憩中にいただいたレモネードソーダが美味しかったです。ゴルフ初心者でしたが、ゴルフの楽しさを知れました。



↑ゴルフの様子

Kayaking では、大学からバスで約 1 時間半の場所にある North Barriere Lake という湖でカヤックを体験しました。TRU の先生がカヤックの乗り方や漕ぎ方を教えてくださったあと、向こう岸まで漕いで、元の場所に戻ってくるアクティビティでした。周りは自然だったため、空気が澄んでいて気持ちよかったです。



↑カヤックの様子

ホームステイについて

私は、同じ大学の子と二人でホームステイをしました。

まず家に着いたら家の中の設備や案内をしてくださいました。守ってほしいこととして、シャワーは 10 分以内に収めること、洗濯は 1 週間に 1 回自分たちで回すこと、朝ごはんはと昼ご飯は各自で作ること、夜ご飯は 17 時から 18 時ぐらいに作るため遅くなるなら連絡すること、でした。

文化の違いで過ごしにくいことはほとんどありませんでしたが、標高の高いところに家があったため、朝と夜は長袖やスウェットがあると過ごしやすい日が多かった印象です。現地の人は、冷える日でも半袖やタンクトップで過ごされていたため、すごいなと思っていました。環境の面では、日本と比べて乾燥しているため、水分をこまめに取ること、化粧水やクリームを多く使って保湿など対策はしていました。のどが弱い人は、日本からのど飴を持っていくといいかもしれません。

また、私が留学していた時期は山火事が起きる時期であったため、山火事発生地が遠くても近くても燃えた臭いが風で運ばれて、外や家の中でもしました。太陽が出ているのに煙で覆いかぶさり明るいはずなのにあまり明るくない、少し先の道が煙で見えないことが多々ありました。のどや鼻が臭いでやられるためマスクは必須ですし、現地の人もマスクで対策されている人が多い印象でした。

食事は、肉料理やジャガイモ料理、ショートパスタやピザ、ホットドッグやトルティーヤ、サラダといった食事でした。野菜もアボカドやトウモロコシ、レタスやパプリカなどと新鮮な野菜ばかりで美味しかったです。他のホストファミリーの家では、インドカレーやフォーが食卓に並んでいるところもあったため、移民国家だなと感じました。

ホストファミリーのやむを得ない事情により、休日に一緒にどこか行くことはできませんでしたが、朝にパンケーキを焼いてくれたり、ホットドッグを作ってくれたり、アイスホッケーの試合を観戦したり、メープルシロップはどがおすすめかを教えてくれたり、充実した日々でした。

休日は、友達や 1 人でスーパーやショッピングモール、ダウンタウンに出かけていました。

治安は良いほうなので、一人で出歩いても問題はありませんでした。ダウンタウンにホームレスはいました。スーパーはいくつかあり、日本の家族や友人へのお土産にお菓子やコーヒー、紅茶や雑貨、化粧品を買ったり、日用品を買ったりしていました。お菓子やコーヒー、紅茶を買うならスーパーがおすすめです。ショッピングモールは、日本のショッピングモールとあまり変わらず、服、靴、コスメ、少しお高いスーパー、飲食店がありました。ダウンタウンには、スーパーやドルストア、公園やアートギャラリー、図書館、飲食店やアイスクリーム屋、雑貨屋がありました。アートギャラリーと図書館が併設されていて、中はとても綺麗ですし、お酒落でした。アートショップもあるため、ちょっとしたお土産も買えます。

留学で得たこと、学んだこと

3 週間という短い期間の中で、文化の違いを多く感じられたことです。

1 つ目に、海外の人は日本人と比べ、コミュニケーションを多くとっていることがとても感じられました。お店に入っても必ず店員さんから挨拶をして、「何か探しているものある?」「何か困っていることあれば私○○だから呼んでね」とすぐに声をかけてくれる。日本でも挨拶はするが、必要最低限の言葉を交わすことが多い印象にあるため、最初は戸惑いました。また、お店で食事するときも店員さんが「お食事どうですか」と絶

対に聞いてきます。それに対して現地の人は、自分の言いたいことをストレートに言っている「とっても美味しい」「自分はあまりこの料理好きじゃないな」と。日本ではあまりない出来事で、文化の違いが感じられて面白いと思いました。

2つ目に、家族愛が強いと感じました。家にはいたるところに家族の写真が飾られており、私がお世話になったホストマザーが写真に写っているおばあちゃんやおじいちゃん、いとこやペットなどたくさん紹介してくれました。日本では、あまりない文化だと感じましたし、それだけファミリー愛が強いことが感じられて、美しい文化だなと思いました。

3つ目に、食文化です。私のイメージでは、肉と野菜を多く食べていると思っていたのですが、トルティーヤやカレー、フォーなどメキシコ料理やインド料理など様々な国の料理が食卓に並び、驚きました。スーパーでも韓国料理や日本食といったアジア料理も置いてあったため、移民国家であるカナダでは、様々な人種の人が住んでいることが食から感じられて面白かったです。また、日本では様々なおかずを食卓に並べて食べますが、カナダでは、大皿にメインと副菜をのせて、食べるという習慣でそういった面も面白いなと感じました。

語学の面では、私の語学力のなさを痛感できました。言いたいことや聞きたいことがあっても、言語化できない、伝えられないことのつらさや自分の不甲斐なさを感じました。ただ、私自身このつらい経験を英語で話す、聞くことが嫌いではないことを知れましたし、より英語を話せるようになりたいと感じました。

留学を通して、海外に行くことの楽しさをとても実感できました。文化、建築、風景、料理、お金など現地に行ってみないと分からない、経験してみないと分からないことがたくさんあり、いろんな国へ行って体験してみたいと強く感じました。

私はこの経験を通して、海外に行くことを社会人になってもやりたいですし、日本に来られる海外の人に、英語で日本の良さを伝えられるような仕事に就きたいと強く感じました。

私にとって、とても良い経験であったなと感じました。